

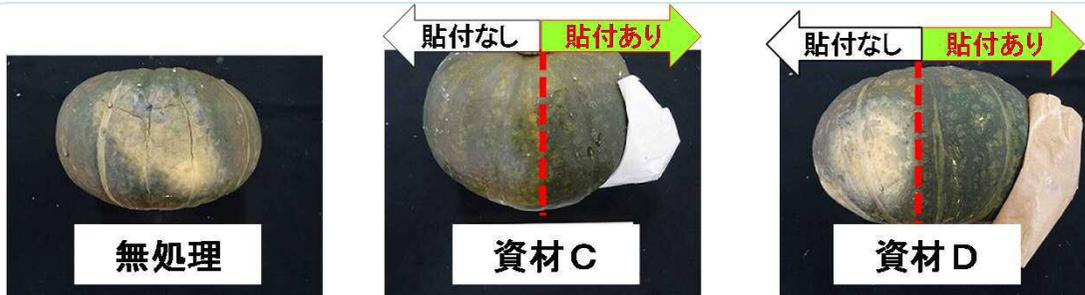
粘着テープによるカボチャの日焼け防止法

粘着テープをカボチャ果実表面に貼付することで、果実の日焼けを防止できる

背景・目的

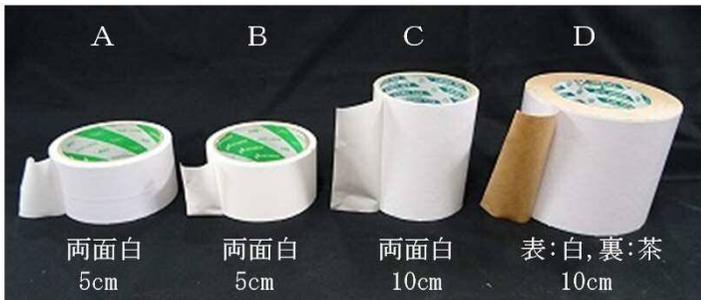
- ・カボチャの日焼け対策は新聞紙による被覆が一般的
- ・しかし、果実を1個ずつ新聞紙で被覆する方法は手間がかかり、また、降雨等で破けてその効果が劣るという問題あり
- ・そのため、省力的で効果の高い日焼け対策技術が要望

成果の内容



- 強日射に長時間さらされることにより、果実表面に白化するほどの日焼けが生じるが、粘着テープを果実に貼付することで簡易に日焼けを防止できる
- 粘着糊は、果実表面に残留しない

【供試資材】



【仕様】
【テープ幅】

【供試資材】 A, B:ニチバン社製(試作品) C, B:KIKUSUI社製

導入メリット



- 貼付作業は容易
- テープ幅10cmの資材C, Dを使用した場合、延べ8時間/10a程度(新聞紙の40%程度)

豪雨による新聞紙の破れ



- 新聞紙は豪雨により、破けて日焼け防止効果も不安定であるが、粘着テープは劣化することもなく効果が安定
- 資材費は10a当たり2,000円程度で低コスト

期待される効果

- ・カボチャにおける省力、低コストで安定的な日焼け対策

普及対象・範囲
カボチャ生産者